

スプリングマットの別処理を実施しています

中防・粗大ごみ破碎処理施設では、埋立処分量の削減という目標に向けて、平成 21 年 4 月からスプリングマットの専用処理機による処理を実施しています。



スプリングマット

処理の概要

スプリングマットの処理には、専用処理機を使用しています。下図は処理の流れです。



カッターで表皮を切る



表皮を剥ぐ



スプリングを圧縮形成する

スプリングは圧縮形成後、約 30 c m 角の大きさに排出されます。平成 21 年度のスプリングマットの処理枚数は、1 月終了時で約 3 万枚（1 日平均約 110 枚）です。



圧縮形成されたスプリング

別処理の効果

スプリングマット専用処理機導入による効果

おもな効果	平成 20 年度 (処理機導入前)	平成 21 年度 (処理機導入後)	検 証
鉄分回収率の向上	約 7 割	約 9 割	導入前に比べ、鉄分回収率が約 2 割向上した。
埋立処分量の削減	31,881 トン	22,185 トン	鉄分回収率の向上などにより、導入前に比べ埋立処分量が約 3 割削減した。
プラント停止回数 の減少	123 件	36 件	スプリングが原因となるコンベヤ閉塞の発生が減り、導入前に比べ、プラント停止回数が約 7 割減少した。

数値は、10 ヶ月間（4 月～1 月）の比較